



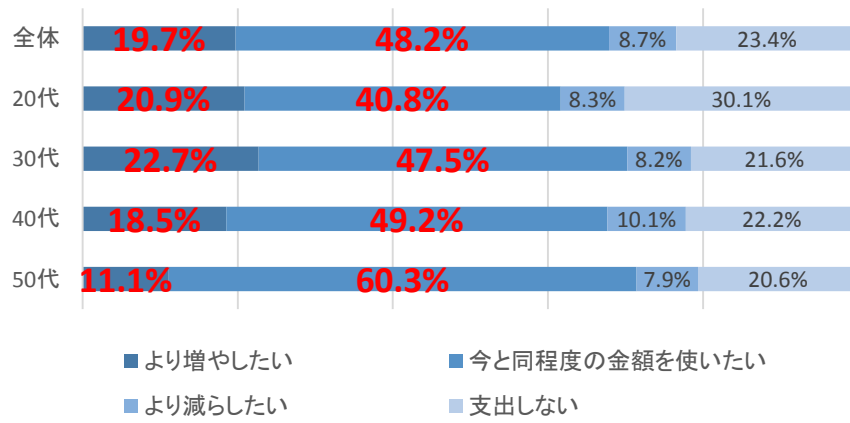
生活に関する調査レポート2015 第7回 ～消費意欲について(健康編)～

20～50代の女性1177名に調査した「生活に関する調査レポート2015」。第3回からは「消費意欲」について項目別に調査結果を発表しています。前回の第6回は美容メンテナンスについての調査をお届けしましたが、第7回は「健康」に関する消費意欲についてのレポートをお届けいたします。

調査方法：インターネットによるアンケート、追加メール取材
調査対象：小学館の女性誌を読んだことのある全国の20～50代の女性1177名

Q下記の項目についての消費意欲を教えてください。

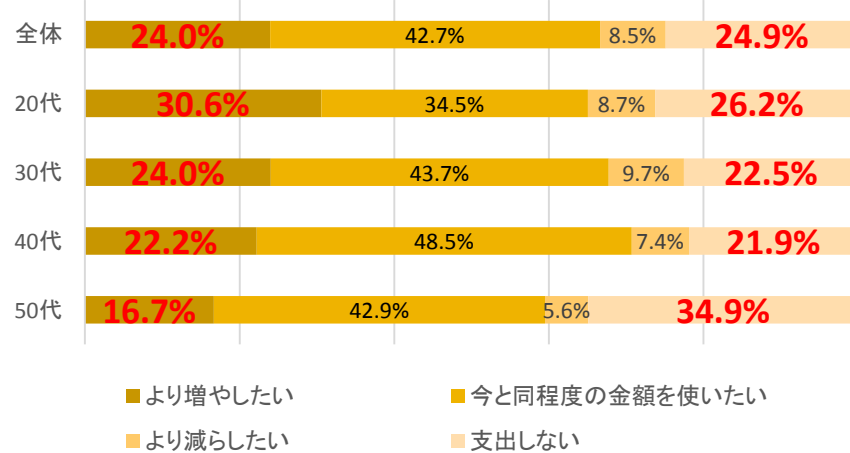
具合が悪くなくても検診を受ける



「健康第一」はもはや常識 若い人でも意識が高い

若い人は健康に無頓着、年をとってから健康のありがたみがわかる…。そんな時代はとう過ぎたようです。「具合が悪くなくても検診を受ける」について、全体で67.9%の人が「より出費を増やしたい」「今と同程度の金額を使いたい」と回答。まだ体に不調を感じていない人が多い20代女性でも、約1/5にあたる20.9%の人が「より出費を増やしたい」と考えていることがわかりました。

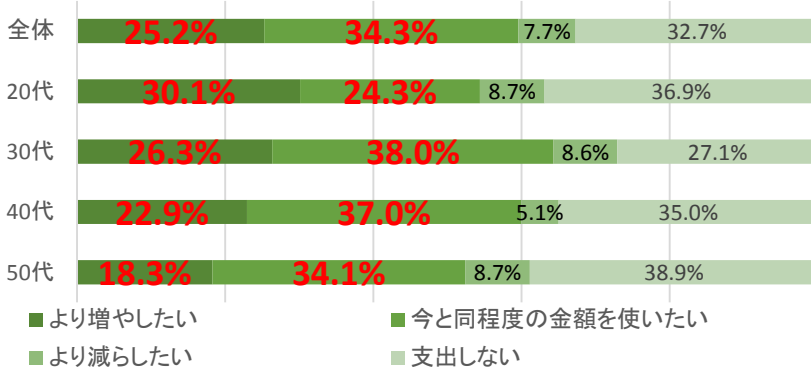
話題の健康法、美容法を試す



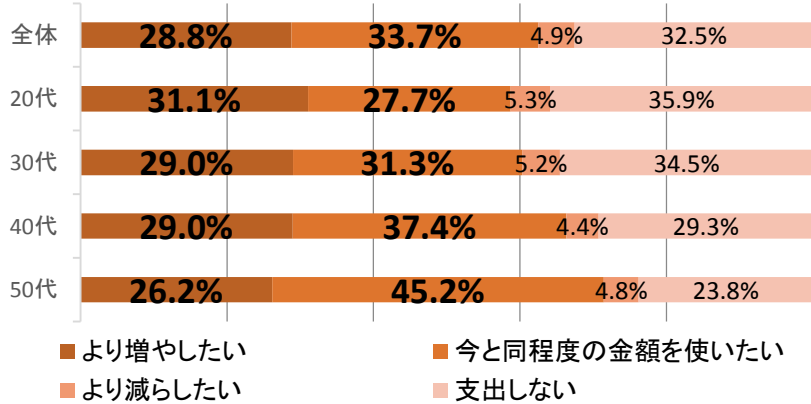
そんな健康ブームを受けて、テレビやネット、雑誌などメディアでも「健康法」「美容法」が多く取り上げられています。こちらら全体で66.7%の女性が積極的に試していきたいと回答しています。「(そもそも)支出しない」と答えた人が一番少なかったのは40代女性の21.9%。「健康」も「キレイ」もともに、本格的に気になってくる年代は40代なのかもしれません。



マッサージ・整体へ行く



スポーツクラブへ通う (ヨガ、ダンスなども含む)



一番お疲れなのは30代？ 世代が上がると運動にシフト

マッサージや整体に対して「より増やしたい」「今と同程度の金額を使いたい」と考えているのは、全体の女性の59.5%。世代別の内訳を見てみると、30代の女性が合計で64.3%と、一番消費に積極的なことがわかります。

一方でヨガやダンスなどを含む「スポーツクラブへ通う」の項目を見ると、全体では62.5%の女性が積極的に取り組みたいと考えていることがわかりますが、世代別に見ると世代が上がるにつれて取り組んでいる人の割合がアップ。50代女性は71.4%の女性が運動をしていることがわかります。

30代女性に聞いたところ「通いたいけれど時間がない」「仕事で疲れているのにさらに疲れることはできない」といった意見が多く聞かれ、マッサージなどで寝っころがっているだけで癒されたいと意識が強いことがわかりました。仕事や子育てなど、気持ちに余裕がでてきたときに運動の始めどきなのかもしれません。

研究所まとめ

健康ブームが引き続き続いていることがわかる結果となりました。若い世代ほど「体に悪いことはしたくない」という意識が強く、「健康は大切」という認識がスタンダードになっています。しかしアンケートをとって気になったのが、溢れかえる「健康」への知識に振り回されがちな傾向があるということです。世代を問わず「〇〇って体にいいらしい」という情報が、インターネットなどを通じて広まり、中には怪しげな情報も。これはひと昔前の「ダイエットブーム」と同じ状況なので、情報の質には注意をする必要があると考えます。一方で、病気になる前に意識的に予防する「予防医療」はこれからもっと注目が高まり、遺伝子検査や食物アレルギー検査など、自分の体についてもっと詳しく知り、その上でうまくつきあっていきたいという人が増えそうです。

調査結果に関するお問い合わせ

株式会社小学館 女性インサイト研究所 担当:安念

TEL: 03-3230-9774 E-mail: pr-islab@shogakukan.co.jp

<http://www.insightlab.jp/>